

令和3年度自己評価書

令和3年3月17日

真庭市立木山保育園

園長 長尾 香代子 印

1. 木山保育園の教育保育目標

明るく元気な子ども
みんなと仲良くする子ども
思いやりのある子ども
根気よく頑張る子ども

2. 本年度の重点目標

◎一人一人が自分らしさを発揮しながら、ともに育ち合う
子どもをめざして
～ 異年齢児との関わりの姿から ～

3. 園評価の個別評価

評価指標	考 察	園総合評価
教育課程・指導計画	園の方針、子ども理解をして計画を立てているが、活動内容については、日々、月の振り返りを通して具体的に深めていきたい。	3
行事	コロナ禍で制約はあったが、今年できる方法で行事が行えるよう職員や保護者と話し合い計画した。会議の内容については全職員に周知し確認し合えるようにしたい。	3
組織・運営	自分の担当を理解して打ち合わせ等を行っているが、全職員への周知の仕方を考えたい。	3
学級経営	担任の気持ちを大切に園全体での取り組みにつなげてきた。複数担任クラスでは職員同士連携をとり、今後も横の連携もしっかりとりながら保育をすすめていきたい。	3
特別支援教育	保護者への信頼関係を大切にし、保健師など関係機関との共通理解がもてるよう連絡を取り合い引き続き成長を見守っていきたい。	3
安全管理・保健指導	担当者がわかりやすい指導を考え伝えている。どの職員も共通理解できるようにしていく。	3
研修（資質向上）	園内研修は、行事など必要に応じてしてきたが、コロナで研修会の機会は少なかったが出席できる範囲で参加できるようにした。	3
情報提供・保護者・地域との連携	わかりやすく伝えるということを常に考えてきた。コロナ禍で制約はあるが地域との関わりも大切にし、災害時には連携できるように周知していきたい。	3
小学校との接続・連携	コロナ禍のためメールのやりとりで交流会などの打ち合わせをしたり、できる範囲で実施したりした。接続・連携を含め、年に数回は合同会議をしたい。	3
子育て支援	保護者が安心して話ができるよう心がけてきた。子どもの健全育成、保護者の支援をしていきたい。	3

食育の推進（給食）	毎月の食育の日に担当者が食育について紙芝居や話をしている。その年の子どもの姿で課題を見つけ食育について深めていきたい。	3
食事の提供（調理）	保育室と常に連携を取り給食を提供している。除去食には細心の注意を払っている。切り方、量など園児の食事の様子をみて対応していく。	3

4. その他必要な評価

評価指標	考 察	園総合評価
その他 1		
その他 2		

5. 本年度の重点目標及び総合的な評価結果の考察等

一人一人の発達に応じて一人一人が自分らしさを発揮できるように、また、保護者との信頼関係を大切に保育に取り組んできた。保育観に多少の相違はあるが、一層、報告、連絡、相談が全職員に定着し共通理解できるよう努めたい。園運営に対する保護者の理解を得ているので、今後も園での様子をわかりやすく伝え、気軽に相談しやすい雰囲気を作りより良い保育ができるよう取り組みたい。

6. 評価結果を受けての具体的改善方策等

園の方針を理解して取り組んでいるが、共通認識ができるような会議の持ち方を工夫し、職員が働きやすく、園児も楽しい保育園となるようにしていきたい。

(保護者アンケートの結果や園内職員で改善策を話し合ったことなど織り込んで記入する)

園評価基準

評 価	基 準	
4	80%以上の達成度	十分達成されている
3	60%以上80%未満の達成度	概ね達成されている
2	40%以上60%未満の達成度	取り組まれているが、成果が十分でない
1	40%未満の達成度	取り組みが不十分である

